

II. 現在の状況をお聞きします。利用者ご本人がどう考えているか、あてはまるものをA～Dの中からひとつずつ選んで○をつけてください。

<どこに○をつけるかの基準>

以下のような考え方で、○をつけてください。

- A 特に問題はなく、自分でできている
- B 問題はあるが、家族や専門家の手助けによってできている
- C 家族や専門家の手助けもあるが、できていないことがある
- D 問題があり、そして、手助けもないため、できていない

		1)現在の状況			
		A	B	C	D
(1) 身の回りのこと	①身の回りのことについて	1 ひとりでできる	2 見守り・指示があればできる	3 少し手伝ってもらえばできる	4 全部やってもらっている
	②食事に ついて	1 ひとりでできる	2 見守り・指示があればできる	3 少し手伝ってもらえばできる	4 全部やってもらっている
	③入浴に ついて	1 ひとりでできる	2 見守り・指示があればできる	3 少し手伝ってもらえばできる	4 全部やってもらっている
	④排泄に ついて	1 ひとりでできる	2 見守り・指示があればできる	3 少し手伝ってもらえばできる	4 全部やってもらっている
	⑤家事に ついて	1 ひとりでできる	2 見守り・指示があればできる	3 少し手伝ってもらえばできる	4 全部やってもらっている
(2) ここに 関すること	⑥生きがい・ 希望・好きなこと	1 たくさんある	2 少ないがある	3 ほとんどない	4 ない
	⑦気持ち	1 非常に 落ち着いている	2 少し落ち着いている	3 あまり 落ち着いていない	4 落ち着いていない
(3) まわりの人と の関係	⑧日中活動での 人とつながり	1 多い	2 少ない	3 ほとんどない	4 ない
	⑨支援してくれる 人の存在	1 多い	2 少ないが いる	3 ほとんど いない	4 まったく いない
	⑩家族との関係	1 関係 が強い	2 関係が弱い	3 関係がほとんど ない	4 関係がない

げんざい じょうきょう
1)現在の状況

		A	B	C	D
(4) 健康に 関すること	⑪健康の管理	1 ひとり でできる	2 見守り・指示が あればできる	3 少し手伝って もらえばできる	4 全部やって もらっている
(5) お金に 関すること	⑫お金の管理	1 ひとり でできる	2 見守り・指示が あればできる	3 少し手伝って もらえばできる	4 全部やって もらっている
(6) 移動に 関すること	⑬交通機関の 利用	1 ひとり でできる	2 見守り・指示が あればできる	3 少し手伝って もらえばできる	4 全部やって もらっている
	⑭住宅内での 移動	1 ひとり でできる	2 見守り・指示が あればできる	3 少し手伝って もらえばできる	4 全部やって もらっている
(7) 自立した生活	⑮自立した生活	1 ひとり でできる	2 見守り・指示が あればできる	3 少し手伝って もらえばできる	4 できない

2) 現在、どれくらい地域で暮らす自信があるかについて、あてはまる数字(1~4)に○をつけてください。

1. 地域で暮らす自信がある
2. どちらかといえば、地域で暮らす自信がある
3. どちらかといえば、地域で暮らす自信はない
4. 地域で暮らす自信はない

3) 現在、施設への入所を考えていますか。あてはまる数字(1~3)に○をつけてください。

1. 施設への入所は考えていない
2. 施設への入所を考えはじめている
3. 実際に施設への入所を申し込んでいる

アンケートは以上で終了です。同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

**平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金
障害者対策研究事業（身体・知的等障害分野）
「障害者の QOL 評価に基づくケアマネジメント手法開発の研究」研究班**

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金障害者対策研究事業（身体・知的等障害分野）
「障害者の QOL 評価に基づくケアマネジメント手法開発の研究」の調査については、
下記の研究班メンバーにより、調査計画、調査実施、調査結果分析、そして、本報告書の
執筆を行った。

本研究担当	氏名	所属・役職	H24 年度調査担当
代表研究者	白澤政和	桜美林大学大学院・教授	調査実施責任者
分担研究者	小澤温	筑波大学大学院・教授	調査統括，Ⅰ執筆
研究協力者	森地徹	茨城キリスト教大学生生活科学部・助教	調査計画，調査実施， 調査結果分析，Ⅱ～ Ⅴ執筆
研究協力者	與那嶺司	大阪人間科学大学人間科学部・准教授 (平成 25 年 4 月以降，神戸女学院大学 文学部・准教授)	調査計画，調査実施
研究協力者	橋本卓也	大阪保健医療大学保健医療学部・講師	調査計画，調査実施
研究協力者	樽井康彦	龍谷大学社会学部・講師	調査計画，調査実施
研究協力者	富岡貴生	かながわ障がいケアマネジメント従事 者ネットワーク (KCN)・理事長	調査計画
研究協力者	岡西博一	かながわ障がいケアマネジメント従事 者ネットワーク (KCN)・副理事長	協力員
研究協力者	中村房代	かながわ障がいケアマネジメント従事 者ネットワーク (KCN) 事務局・職員	協力員
事務担当	村上祐子	ソーシャルワーク・ケアマネジメント研 究所・職員	事務員

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金
障害者対策総合研究事業（身体・知的等障害分野）

障害者の QOL 評価に基づくケアマネジメント手法開発の研究
（H23-身体・知的-一般-006）

発 行 2013 年 3 月
発行責任者 白澤 政和 桜美林大学大学院老年学研究科

16